万博のインパクトを活かした大阪の将来に向けた有識者ＷＧ

**2050年の大阪の将来像に関するご意見**

**株式会社ミライロ　垣内　俊哉　様**

**〇 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の考え方から、2050年の大阪の将来像の検討に向け、３つのキーワード【健康、持続可能、国際都市】を設定しました（別添有識者ＷＧ資料３，４ページ目を参照してください。）。それぞれの観点を参考に、委員の皆様が現時点で考える2050年の大阪のあるべき将来像があれば、自由に記載してください。**

 **なお、キーワード以外の事項についても、幅広く記載いただいて結構です。**

 ＜ユニバーサルデザインの視点より＞

**誰もが住みやすい・働きやすい・訪れやすい大阪**

・法や条例だけではカバーできないユニバーサルデザインに関する指針と、企業の取り組みを

後押しする制度を策定する。

・交通機関のバリアフリー化など、点としての取り組みではなく、飲食店や宿泊施設なども

含めた、線、面としての取り組みへ昇華させる。

**テクノロジー×ユニバーサルデザイン**

・テクノロジーの進化を活かし、パーソナライズされた自由な就労と消費を実現する。

・多様な方々が安全、安心、快適に、自ら望む生き方ができる都市へ。

 **将来像の実現に向けて、克服するべき課題や取組みの方向性がありましたら、**

**記載してください。**

 ＜ユニバーサルデザインの観点より＞

**社会に存在するバリア**

・「環境・意識・情報」３つのバリアを解消することが求められる。

**社会貢献と経済活動の両立へ**

・社会性と経済性を伴った活動にすることで、継続的なアプローチが可能になる。

・高齢化先進国の日本ではユニバーサルデザインはひとつのビジネスへ。

-------------------------ご記載いただく上での留意点---------------------------

◯　参考資料として添付している「大阪のめざすべき将来像を考えるうえでの視点」や

「大阪の現状」、「人口推計」等をご参照のうえ、**自由にご意見を記載してください。**

◯　**WG当日に、各委員の説明時間（５～１０分）を設けます**ので、資料の補足事項は、その際にご説明いただけます。

◯　今後の取組みの方向性は、行政に限らず、民間などの取組みも含めて幅広く記載い

ただいて結構です。なお、本ビジョンが、2025年を目標年次としていることから、2025年に向けた取組みの方向性を記載してください。

◯　行数が不足する場合は、適宜、新たな行を追加してください。

◯　**ご提出いただいた本様式は、資料として配布するとともに、WG終了後、HP上で公表いたします。**

◯　本様式以外に、第１回WGで提出を予定されている資料があれば、併せてお送りください。

------------------------------------------------------------------------------